

# 『営農アンケート』集計結果の説明

～西川（口西川・中西川）地区集計～

1

令和3年2月15日  
香南市農林水産課

## 『営農アンケート』集計結果の説明目的

- 営農アンケートの結果を地区会合の参加者間で共有し、**地区での共通課題を参加者で確認**する。
  - 農地所有者や農業者の年齢構成を知り、後継者の有・無を含め、今後の地区の農業継続性の現状を理解する。
  - 農業者や農地所有者の農地の現状認識を確認する。
  - 持続可能な農業に向けての考え方の傾向を共有する。
- アンケートの内容をできるだけ可視化し、地区の会合で**活発な議論を呼ぶ材料**とする。
  - 自由記述意見をコメントとして記述し、できるだけ生の声を再現する。

## 注) 営農アンケートの利用について

- ① アンケートでご回答いただきました内容は、『人・農地プラン』事業関係の事項に利用させていただき、他の目的では使用しません。
- ② 地区の会合等でアンケートの集計結果のまとめを説明する際に、お名前などを含めてプライベートな事項は出ないように処理したうえで、コメントを利用させていただきます。

地区の皆さま、ご了承をお願いいたします。

## 『営農アンケート』の概要

- 目的：人農地プランの策定に向けて、農地所有者、後継者、耕作者の現状、今後の営農の意向を把握する。
- 対象：香南市にある農地の所有者、後継者、耕作者
- 方法：郵送でのアンケートへの回答、または農業委員・推進委員による戸別訪問での聞き取り
- 使用データ：農家台帳（令和元年12月16日時点）
- 件数：宛先不明等を除いた実質 5,864件 （総数 7,302件）
- 実施：令和元年12月～令和2年7月
- 回収終了：令和2年9月23日
- 回収件数：3,330件 （56.8%）
- 面積：1520ha （64.4%）

# 西川地区の営農アンケート回収状況

5

(注) 農業委員・農地利用最適化推進委員による個別訪問調査も含む

- 247通送付し返信数は140通であり、返信率56.7%となった。
- 返信者の農地所有面積集計では、地区全体の66.7%となった。

表1) 地区別返信率 (人数)

No.	地域	実質数	返信数	返信率
1	佐古	303	185	61.1%
2	西野・大谷・深淵	560	319	57.0%
3	下井・上岡	314	208	66.2%
4	東野	433	216	49.9%
5	富家	285	156	54.7%
6	香宗	235	143	60.9%
7	吉原	290	146	50.3%
8	古川	200	130	65.0%
9	赤岡	174	118	67.8%
10	徳王子・岸本	592	344	58.1%
11	山南	484	266	55.0%
12	山北	380	203	53.4%
13	西川	247	140	56.7%
14	東川	209	113	54.1%
15	舞川・撫川・奥西川	103	57	55.3%
16	西山・坪井	397	231	58.2%
17	十ノ木・上夜須	181	95	52.5%
18	夜須川・細川・国光	207	124	59.9%
19	羽尾	36	26	72.2%
20	手結山	234	110	47.0%
	合計	5,864	3,330	56.8%

表2) 地区別返信率 (面積)

No.	地域	現況面積(m <sup>2</sup> )	返信(m <sup>2</sup> )	返信面積比率
1	佐古	1,297,261	744,122	57.4%
2	西野・大谷・深淵	2,360,164	1,572,798	66.6%
3	下井・上岡	1,314,818	908,980	69.1%
4	東野	1,825,753	1,048,214	57.4%
5	富家	925,220	618,222	66.8%
6	香宗	739,417	455,440	61.6%
7	吉原	809,809	424,597	52.4%
8	古川	437,288	260,175	59.5%
9	赤岡	580,401	450,114	77.6%
10	徳王子・岸本	3,020,829	2,228,900	73.8%
11	山南	2,365,532	1,459,258	61.7%
12	山北	1,749,997	1,196,689	68.4%
13	西川	1,107,364	738,328	66.7%
14	東川	777,707	485,386	62.4%
15	舞川・撫川・奥西川	277,516	143,200	51.6%
16	西山・坪井	1,600,275	1,044,408	65.3%
17	十ノ木・上夜須	801,984	453,988	56.6%
18	夜須川・細川・国光	695,643	402,999	57.9%
19	羽尾	134,915	73,671	54.6%
20	手結山	781,247	491,765	62.9%
	合計	23,603,141	15,201,256	64.4%

## 口西川・中西川の回答状況

- 各集落共に約半数を超える所有者・農業者の方々にご回答をいただきました。
- 回答いただいた方の所有の面積集計も両集落で過半数を超えました。

表3) 集落別返信率 (人数)

No.	集落	対象数	発送不能 宛先不明	実質数	返信数	実質返信率
13-1	口西川	157	27	130	78	60.0%
13-2	中西川	142	25	117	62	53.0%

表4) 集落別返信率 (面積)

No.	集落	現況面積(m <sup>2</sup> )	返信(m <sup>2</sup> )	返信面積率
13-1	口西川	592,178	438,069	74.0%
13-2	中西川	515,186	300,259	58.3%

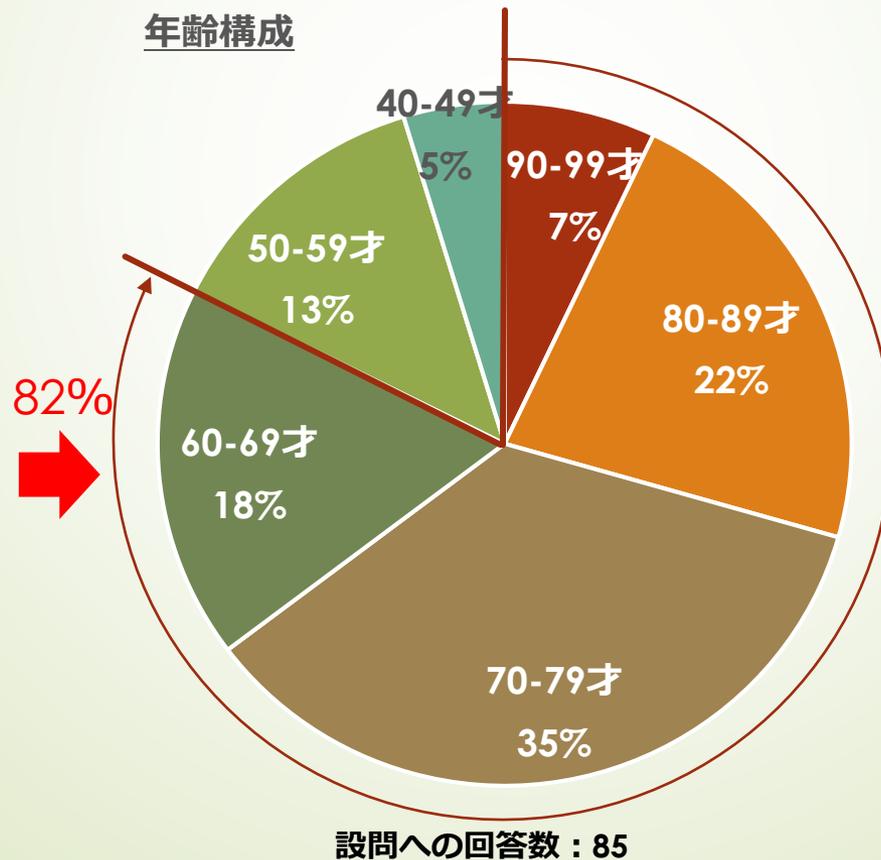
・・・アンケートへご協力いただきましたこと、改めて感謝いたします。

# アンケート集計 (1)

7

## アンケート回答者（農地所有者、農業者）の年齢構成

- 回答者（農地の所有者、農業者）の82%は60歳以上の状況である。



## アンケート集計 (2)

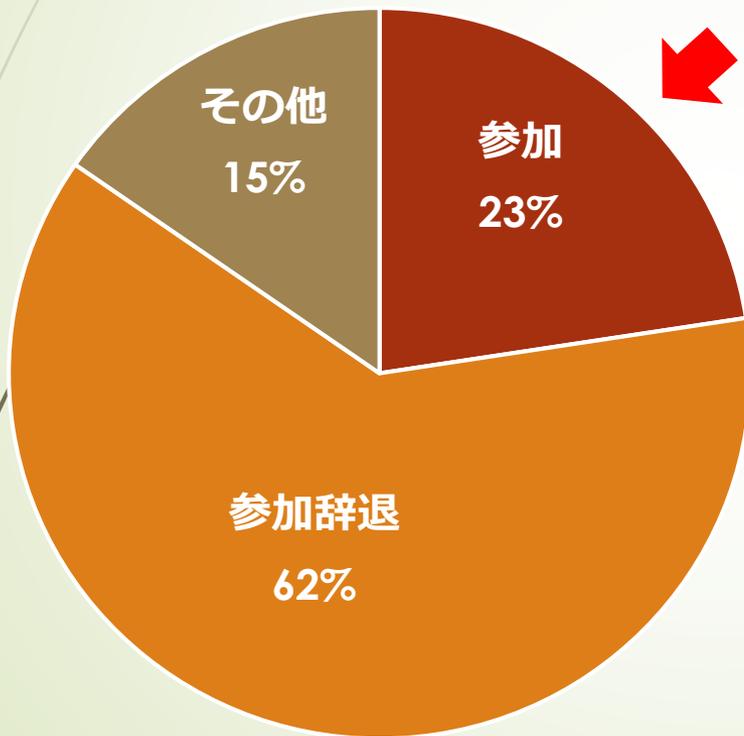
### 地域会合への参画意向

8

#### 話し合いへの参加希望 (取組に対する意見等)

- 回答者の23%は地区会合に参加を希望されている。
- 参加辞退者も、地区会合の内容は知りたいとの意向を持っている。

会合への参加



コメント：

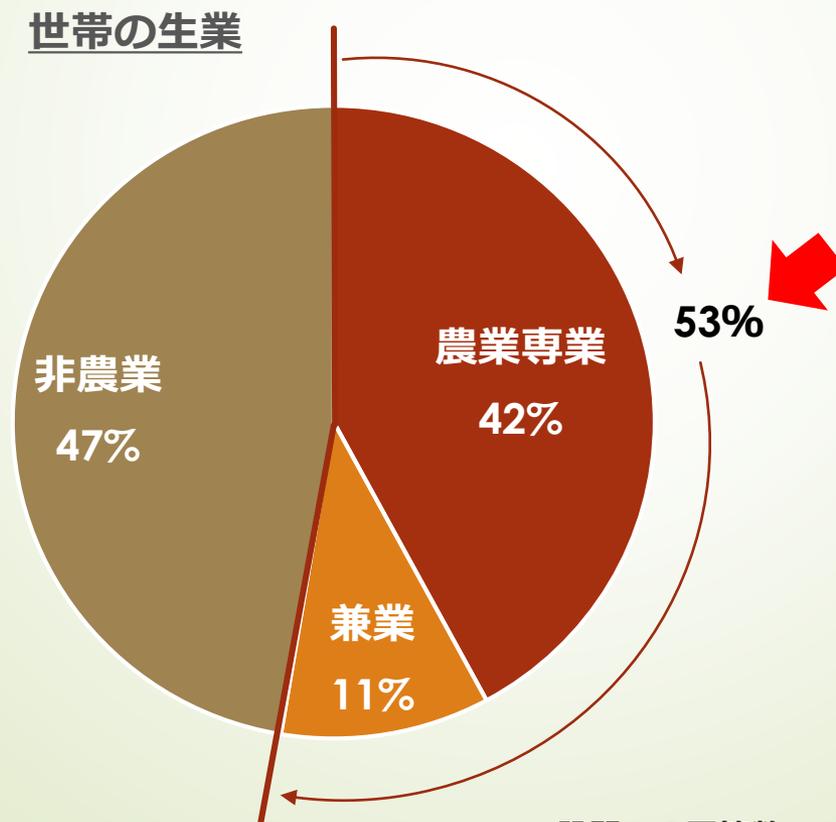
- ・話し合いが必要になれば参加する。
- ・家庭菜園のため、みなさんの方針に協力します。

設問への回答者数：124

9

Q1. あなたの世帯は、どのような世帯ですか？

- 専業、兼業合わせても農業を営む割合は53%となっている。
- 農業を営んでいない人は47%であった。（離農し他の職業へ、相続、高齢、施設入所、県外など遠方に転出：土地持ち非農家）

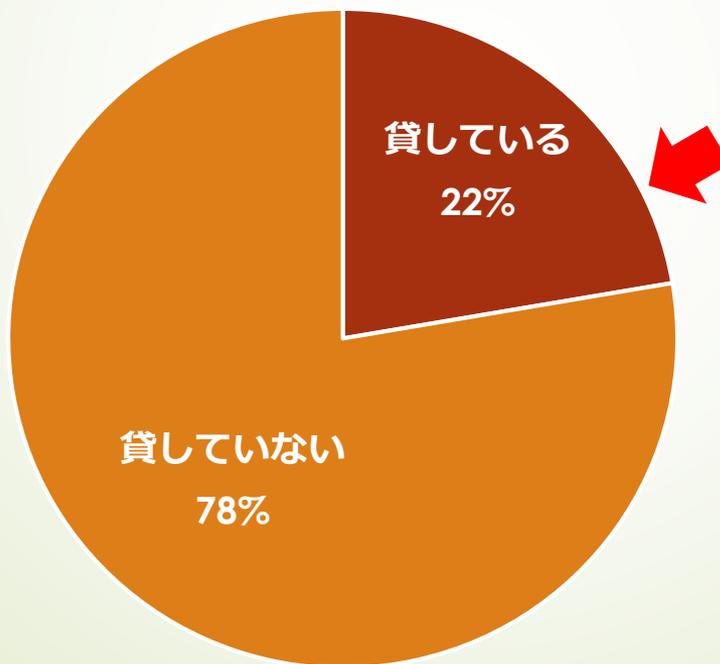


設問への回答数：133

### Q2. 現在、人に農地を貸していますか？

- 現状で農地所有者の22%は農地を貸している。

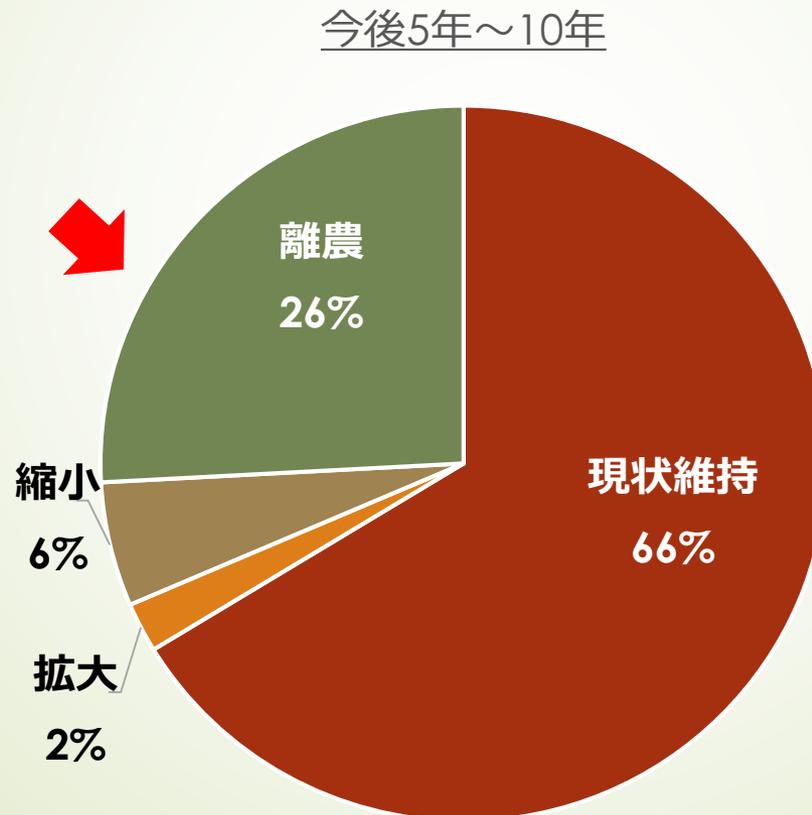
農地の現状



設問への回答者数 : 130

Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

- 今後も現状維持するとの意向が66%あった。
- 一方、農業を辞める或いは規模縮小する、との回答も併せて32%あった。



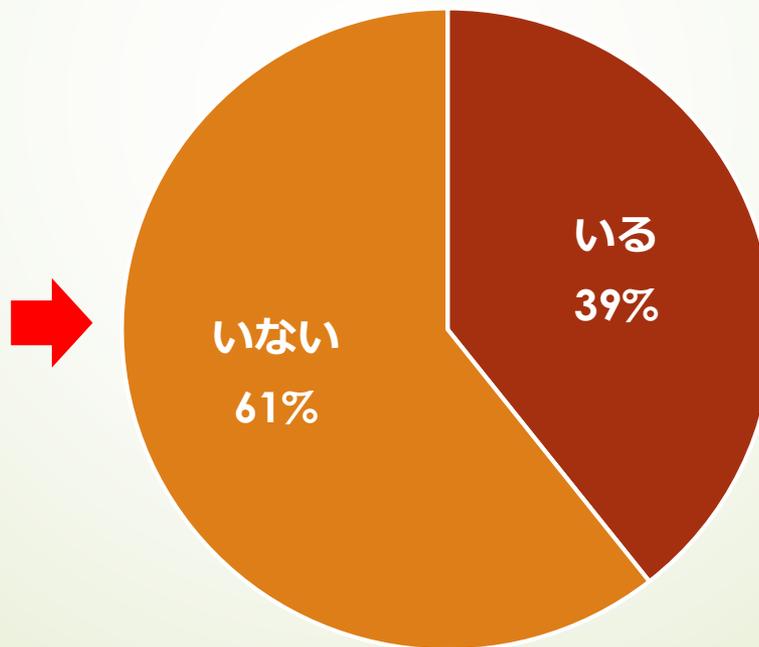
コメント：  
・できれば、今のままで管理  
(時々草刈他) したい。

設問への回答数：89

### Q4. 後継者（農業後継者）はいますか？

- 農業後継者のいない割合が61%あった。
- 跡継ぎは居ても農業を継がないあるいは継ぐかどうかは不明であるケースもある。
- 担い手の後継者不在の状況も垣間見える。

農業後継者



設問への回答者数：127

13

Q5. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

- 放棄地の増加、後継者不足や高齢化が深刻であるとの認識が多い。
- 所有者が悩みを抱えている状況も伺える。

コメント：

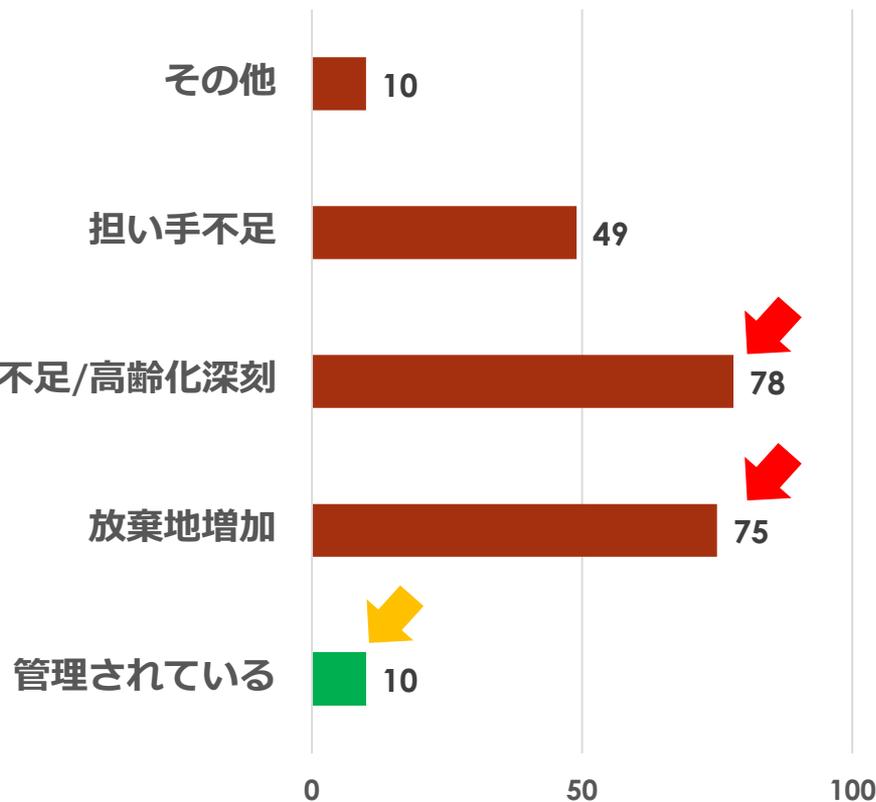
- ・宅地が多いのでわかりません。
- ・現地に居住していないのでわからない。

- ・農業収入はわずかで、圧倒的な赤字経営である。年金収入に依存しており、耕作放棄地にならない事を目的に、農業活動を維持・継続中。でも無理はつづかないでしょうね。鳥獣害が深刻なうえに、近年の自然災害（水害）等が加わり、地域の農地を維持する意欲が失われている。

- ・農地へ行くまでの車道がない。
- ・昔ミカン栽培をしていたので、段々畑で、林になっていると思う。車で（畑まで）行けない。
- ・天災等で農地の維持がむづかしい面有。

- ・後継者不在。畑の現況は山林（雑木林）で場所の確定は出来ない。
- ・何とか息子に管理してもらっている状態!!
- ・相続を受けた土地であるが、農業経験もなく、そのままになっています。

地域の農業者/農地の状況

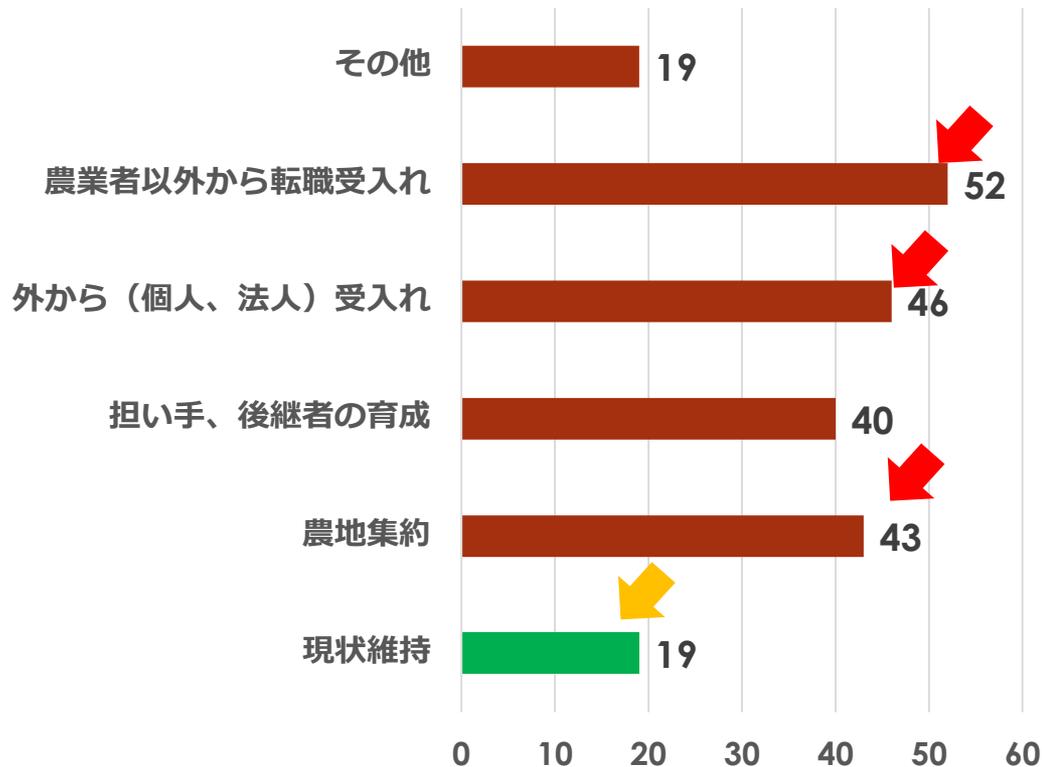


設問への回答数：222

Q6. あなたの地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

- 農業者以外や地域外から受け入れる、農地を集約するといった意見が多い。

持続可能な農業



設問への回答数：219

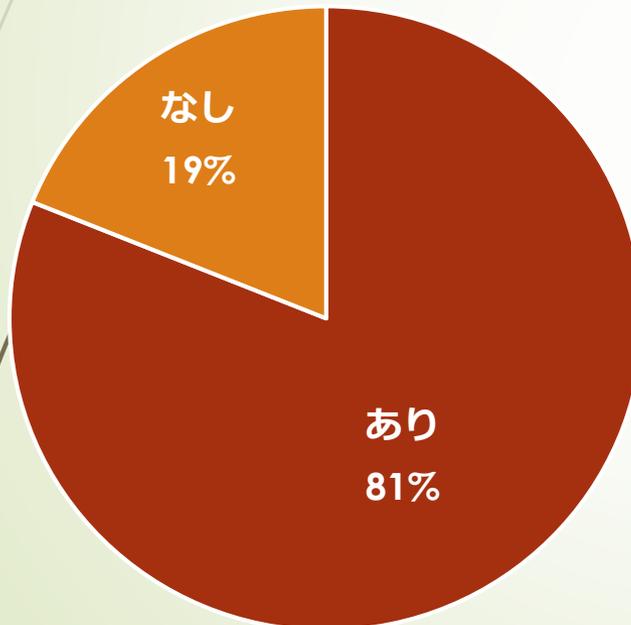
## コメント

- ・具体的に何がよいのかまだわからない。
- ・わかりません。
- ・沿岸地域からの移住者を受入れる。
- ・短期間(収穫時)の人の確保。
- ・農業以外からの就農では、住宅、耕地、一定期間の収入等、受け入れ条件を整備する。安定的な収入が確保できる新規作物や販売市場を開拓する。
- ・農業収入の確保。
- ・農業(柑橘類)を育ててみたいと願っている。後継者に引き継いでもらえればこの上ないです。
- ・中山間地域の為、日当たり、区画等で農地に向いていないので、農業の持続不可能だと思う。
- ・便の悪い所は捨てる。

Q7. あなたの農地で、売ったり貸したりしてもよい農地やハウスがあれば教えてください。

- 貸し希望の背景は、農業者が体力的に続けられない状況がある。
- 売却希望の背景には、借地者が高齢、その後継者がいないケース、県外/市外に在住しており耕作地までが遠距離のケースなどがある。

売り貸し候補地



## コメント

## 【貸したい】

- ・高齡化。
- ・維持管理する者が居ない。
- ・所有農地で営農できるようでしたら、経験を問わず地域活性の為に活用していただきたい。

## 【売りたい貸したい】

- ・売り貸ししてもいい土地はありますが、荒野になっております。また、面積等が不明です。
- ・場所バラバラで条件悪く、借り手買い手は?。。。無理だろう。
- ・方法を問わず処分したい。
- ・今すぐではないが、いずれはどうかしたい。
- ・今後検討していきたいと思っている。

【売りたい】

- 高齢化等で維持管理がむづかしい。
- 高齢化。
- 維持管理ができない。
- 後継者が居ない。
- できることなら農地のすべてを売りたいと思っています。後継者が居ないため。
- 不要になりました。
- 場所不明。
  
- 現在貸しているが、いつまで継続してもらえるか保証はない。耕作放棄地にはしたくない。
- 今は貸していますが、売れるならば売りたい。
  
- 土地は全て植林し、現在山林となっています。土地の（地目の）変更は未登録です。
- この先農業をするつもりはないので、県外にいて、管理する者が居ない。

# ■ アンケートからの農地の売却・賃貸希望の背景概要

17

## 農業者側の事情

- 高齢化、体力・気力低下
- 所有者/借地者の病気
- 県外など遠方に在住
- 農機具を所有していない
- 他の仕事に専念
- 後継者不在/跡継ぎまで年数要
- 耕作者である借地人も高齢/後継者が居ない

農地を農地として管理できない。

## 耕作条件

- 小さい農地区画
- インフラ（農道/水路）不備
- 病害（生姜）/使用形態（養殖）

農地としての適性が低い。

## 農業の採算性

- 米づくりでは赤字

農業（稲作）を続けられない。

## 資産活用

- 生活費の捻出
- 事業の資金の調達
- 貸地としても経費（公租公課、水利）要

農業以外で資金需要がある。

賃貸

売却